

矢作ダムからのお知らせ

創刊号

2004.2

国土交通省中部地方整備局
矢作ダム管理所 広報誌

矢作 だま

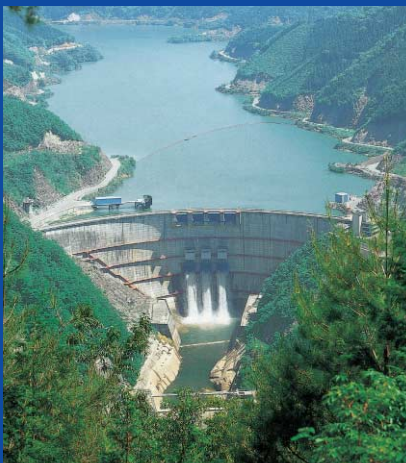
矢作ダム↓

矢作川

矢作古川

三河湾

伊勢湾



特集

矢作ダムのはたらき

ご存じでしたか。矢作ダムはみなさんの暮らしに 安らぎと潤いをもたらしています。

連載

- ダム周辺及び流域市町村を結ぶ／リレートーク① 愛知県旭町
- 矢作川流域の方々との出会いでつづる／流域オンライン① 豊田市立 西広瀬小学校
- 矢作ダム最新情報 現在、ダムやダム湖周辺で行われている工事を紹介します。



矢作ダム管理所長 深谷 壽久

皆さん初めまして、矢作ダム管理所長の深谷です。矢作ダムができて今年で三十三年が過ぎようとしています。この間には平成六年の全国的な大洪水や平成十二年の東海豪雨(恵南豪雨)による大洪水などを経験したり、ダム湖周辺では毎年のように桜祭りやジョギング大会などが開かれ、地域の皆さんと一緒に矢作ダムとしての歴史を刻んでまいりました。

さて、私がこちらにまいりまして十ヶ月が過ぎようとしています。夏休み期間中に「森と湖に親しむ旬間」のイベントで約200名程度の子供さんや一般の方々がダムを見学し探索されました。ダム本体の中まで入っていただき、このダムの機能や働きについて説明する中で感心されたりご理解もいただきました。その後、ひとりの方が「孫にもダムの大切さについて見学させたい。」と再度お孫さんを連れてダム見学にみられ情報提供の重要性が分かった次第です。

一方、昨年の夏の天候は冷夏で大変雨が少なく渇水にはなりませんでした。台風や長雨で渇水や冷水が長期化しアユ漁に影響が出ていると聞いています。またダムの中には長年にわたり多くの土砂が貯まっています。このように矢作ダムは矢作川流域の上流から下流まで大きな影響を与え、今後も流域全体の生活に大きく関わっていくこととなります。このような中で、矢作ダムの情報はもとより水源地域情報を始め下流地域を含めた流域全体の情報を発信したり流域全体のみなさんのご意見をうかがったりする場の情報誌として「矢作だむっこ」を発刊することにしました。これからも末永くご愛読をいただきますようよろしくお願い申し上げます。

特集

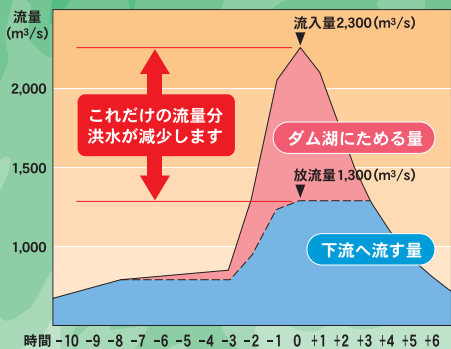
矢作ダムのはたらき

ご存じでしたか。矢作ダムはみなさんの暮らしに安らぎと潤いをもたらしています。

水害から暮らしを守る



東海豪雨時の矢作ダム



大雨などの時、川を流れる水を一時的にダム湖にため、下流に流れ込む水の量を減らすことで洪水被害を少なくしています。



これらの「はたらき」を「水を治める」と書いて、ダムの『治水効果』とよんでいます。

リアルタイムにダムや川の情報を発信しています



関係市町村に設置した情報表示端末に、映像や情報は配信されています。

矢作ダムでは、地域のみならず、IT化を全国に先駆けて積極的に進めています。ダムの放流状況や貯水状況、ダム下流水位の状態などを、リアルタイムな映像として関係市町村に送っています。また情報表示板で地域の皆さんへもお知らせするために、矢作川沿いに光ファイバー網を設置しました。

リユーボくん

木の化身。大雨の時、矢作ダムのおかげで海まで流されずすんだ流木が、洪水から人々の暮らしを守っている矢作ダムの大切さを伝えるために生まれかわりました。矢作ダムの治水機能、ダム設備や管理などを紹介する際に登場します。

わたしたちがご案内します



マクアちゃん

水の妖精。大地を巡り矢作ダム湖に注がれた水が、人々に水の大切さや尊さを伝えるために妖精として生まれかわりました。矢作ダムの治水機能、矢作ダムと環境などを紹介する際に登場します。



●矢作ダム利水受益地域

- 農業用水
- 工業用水
- 水道用水

これらの「はたらき」を「水を利用する」という意味から、ダムの『利水効果』とよんでいます。

水の恵みを暮らしに活かす

農業用水

豊田市、岡崎市など西三河地域の12595ヘクタールの田畑に水を届けています。

水道用水

西三河地域の9841000人分の水を供給することができます。

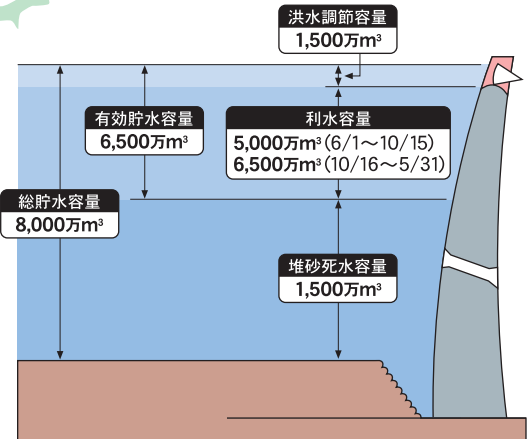
工業用水

衣浦臨海工業地帯(碧南市、半田市、刈谷市、高浜市、武豊町、東浦町)とその背後の工業地帯(豊田市、岡崎市、安城市、西尾市、幸田町)および名古屋南部臨海工業地帯の鉄鋼、金属、重化学、繊維等工業に給水しています。

発電

他の水利用に支障のない範囲で、水力発電を行っています。ダム直下流の第一発電所と時瀬発電所を合わせると、最大出力67000キロワットのクリーンなエネルギーを生み出しています。

●矢作ダム貯水池容量図



憩いのスペースとしてもダムは暮らしに活かされています

矢作ダム周辺では、多くの方々に豊かな自然、潤いある水辺環境に親しんでいただくよう環境整備を実施しています。また、地域の方々の憩いの場や、地域の活性化の場として、イベントや祭りなどが開かれ親しまれています。



矢作ダム周遊ジョギング大会

地域のみなさんとともに「将来の矢作ダム」について考えています。

矢作ダム貯水池総合管理計画検討委員会



矢作ダムはいま

矢作ダムは昭和45年度に完成し、管理を始めてからすでに30年以上が経過しています。この間幾度か経験した洪水・渇水のために、ダム湖やその上・下流では堆砂や濁水など予想をこえる環境の変化が生じています。

平成13年度の測定では、貯水池有効容量内に約830万m³の土砂が堆積し、このままではダム本来の目的である「治水」「利水」機能の低下が懸念されます。また、濁水や低水温が下流の自然環境に悪い影響を与えているとの声もあります。

委員会設立の目的

現在の環境の変化に対して、どのような対策が必要なのか。その実態の解明・対策の立案などについて学識経験者と関係者の指導や助言を得ることを目的に「矢作ダム貯水池総合管理計画検討委員会」を設立しました。

●このような内容を検討しています。

① 自然環境対策の検討

ダム貯水池・発電ダムの濁水・冷水・流量などが下流域の生物に与える影響を検討します。

② 濁水・冷水・維持流量の対策の検討

濁水・冷水・維持流量が与える影響について、ダム貯水池内の対策やダム本体・選択取水設備の改善を検討します。

③ 堆積土砂対策の検討

堆積土砂が与える影響について対策を検討します。特に短期的には洪水調節容量、利水容量および貯砂ダムの機能復元。長期的にはダム貯水池内の貯砂対策方法の検討を行います。

現在までの活動

現在までに4回開催しました。実態の分析や解明を行うなか、濁水・冷水対策として、今年度から貯水池に分画フェンス(濁水対策フェンス)を設置し、ダム貯水池内の水の流動を抑え、濁水の軽減を図っていきます。

愛知県 旭町

人と自然 人と人が ともに生きる町をめざして



塚田 武士 町長

激動の始まりを感じさせた一年

具体的には何も決まっていらない。行政改革やイラク問題。また、「平成の大合併」と称され、各地で市町村の合併が進むなか、私たちの旭町も豊田市を含む6つの市町村と合併を検討するなど、2003年は激動の始まりを感じさせた一年でした。

新しい年、そして今後の大きな課題は、やはり市町村合併をいかにスムーズに実現させることができるかにあります。明治維新以後、合併を繰り返して、時代の変化に対応してきた結果が今日の姿であるわけですから、さらに大きく変化した社会、生活圏の広がりにあわせて新しい行政体をつくっていくということは自然の姿ではないでしょうか。自治体

地域主導の町づくりを実践

の枠を取り払うことで、都市と農山村が共生し「住んで良かった」として「住みたくなる」地域構想が打ち出されれば、市町村合併は地域住民にとっても必ずプラスになるはずですよ。

現在、旭町では行政主導だけでなくコミュニティ主導の地域づくりを進めています。お年寄りから子供まで一緒に「グラウンドゴルフ」を楽しんでいるのもそんな活動のひとつ。顔見知りになれば自然と挨拶が出るようになるでしょう。少子化の時代、地域ぐるみできちんと子供を育てていこうとする試みなんです。

また、友好姉妹都市の愛知県新川町とは、地域住民相互で様々な交流を続けています。

矢作ダムへの要望

水源地でありながらダムの水を使うことができないことは、非常に残念です。ダムを管理する側と地域は一体となって水の効率的な運用を考えていく必要があるのではないのでしょうか。また、情報の確かなキヤッチと素早い対応で洪水調節の役割を果たしていただきたい。それから、母なる川である『矢作川』のために水の浄化対策を積極的に行っていたきたいと考えています。

お仕事を離れると囲碁、俳句、ゴルフ、鮎つり、野球と多趣味が高じて暇がないという塚田町長。正月に初日の出を見た際に詠んだという俳句を披露してくださいました。
初日の出 万物ここに 生まれり

つくばの里「梅まつり」

旭町日下部の最光院で行われるこの「梅まつり」は、3年前から旭町の新たな観光スポットとなりました。

- 期間／3月20日(土)～28日(日)
- 時間／午前9時～午後3時
- 場所／旭町日下部最光院周辺

[内容]
開催期間中の土日は、和太鼓演奏、琴演奏、茶席、農産物販売、五平餅販売等をお楽しみいただけます。



旭高原元気村

雪の広場で
そり遊びを楽しもう！

人工降雪機により、旭高原で雪遊びが楽しめます。150mのゲレンデの頂上からは、前方の山々が見渡せ、滑り終わったら「動く歩道」で頂上まで楽々に登れます。

- 期 間／1月2日～3月31日
※年によって変動があります。
- 時 間／午前9時～午後4時
- 入場料／3歳以上500円
(20名以上の団体400円)
レンタルそり500円



愛知国定公園に指定されている旭町は、平成8年には、昭和15年以来続く小学校の学有林での育林活動や河川の景観整備、水の浄化活動などによる環境保全活動が認められ、愛知県では唯一、国土庁から「全国水の郷百選」の認定を受けました。

町内には、四季折々の自然あふれる旭高原元気村、アジア初のカヌー競技のワールドカップが開催された国内最大のコースを持つ「矢作川カヌー競技場」、溪流での「鮎つり」、歴史ある「笹戸温泉」、2つの「ゴルフ場」などがあり、都市部から近く手軽にアウトドアが楽しめるレジャー、スポーツの町として人気が高まり、都市との交流も盛んになっています。

また、平成14年度から各地域の「ミニ二丁目」単位で特徴を活かした活動を支援する「旭町わがまちづくり支援事業」に着手しました。地区で「音に風鈴をつる」「夢かけ風鈴」、梅林と特産物による「梅まつり」、広葉樹の植栽による「景観づくり」など地域が一体となったまちづくりが始まっています。

一方、人口減少・高齢化や農林業の低迷、都市地域への人口集中などにより、地域の発展を支えてきた自然環境や人々の暮らしは大きく変化し、行財政の将来もますます激しさを増している現在、法定合併協議会を設立し、市町村合併に向け具体的な調整を進めています。

豊田市立 西広瀬小学校

調査連続一万日を達成した
小さな見張り番たちの矢作川水質調査

採水した川の水は、水質測定室のある『清流の塔』に運びます。高さ10mの建物には、道行く人たちにその日の透視度を知ってもらうために『透視度表示板』が取り付けられています。



水質によって色の変わる試験紙を使ってpH(ペーハー)値を測定します。



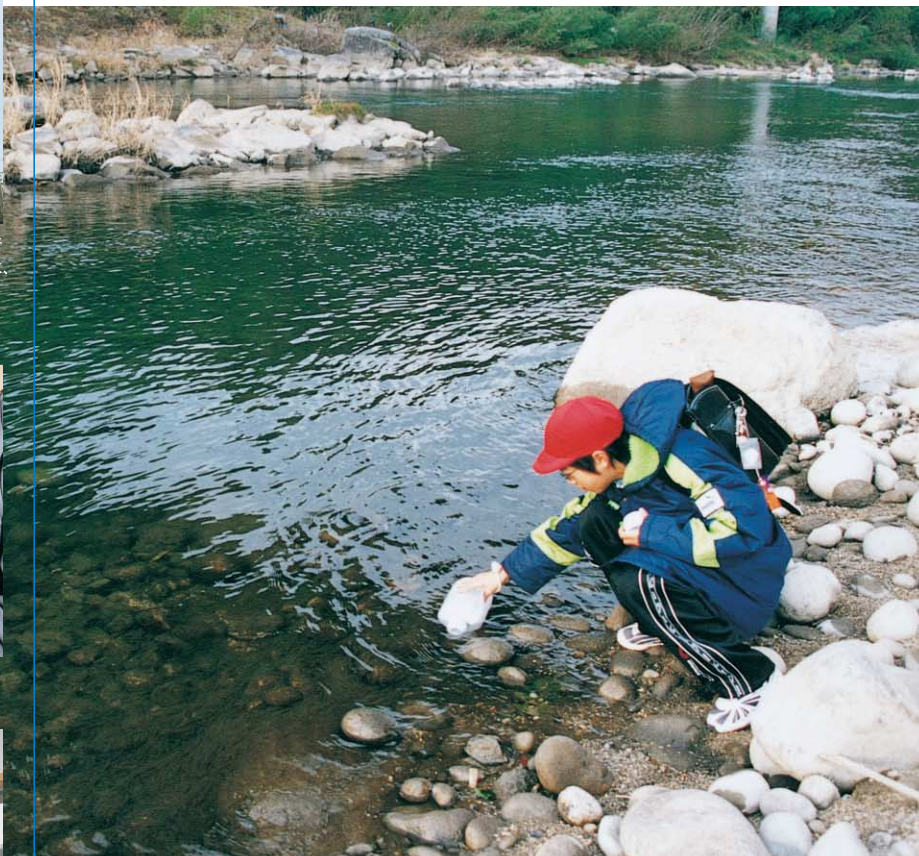
始めた時は30cmの透視度計でしたが、今では150cmのものを使用。矢作川の水はずいぶんキレイになりました。



毎日の水質の変化はノートやグラフなどに記録しています。



測定結果はFAXを使って、豊田市役所、矢作川漁業協同組合、地元の新聞社に送っています。



水質調査は登校時に行う『採水』から始まります。同じ時間に同じ場所で行うのが測定の基本。雨の日も雪の日も、28年間一日も休むことなく繰り返されてきました。

「お父さんやお母さんが子供の頃のように川で泳いだり、魚を捕ったりして遊びたい。自分たちの遊び場は自分たちでつくる」と豊田市立西広瀬小学校の子供たちが、矢作川と飯野川(矢作川の支流)の水質調査を始めたのは28年前の昭和51年。この頃の日本は高度成長の真っただ中で、矢作川は「ミとにごった水の流れるドブ川」のようでした。調査を続ける西広瀬小学校の子供たちは「矢作川の小さな見張り番」と呼ばれ、その活動は豊田市の河川美化運動が全市民的な市民運動へと大きな広がりをみせるきっかけにもなりました。

子供たちの水質調査は、後輩へと次々に受け継がれ、平成15年11月18日には連続一万日を達成しました。「毎年2月に来年度も調査するかどうか児童会で話し合うのですが、今まで、止めようという意見は誰からも出たことがない」のだそうです。子供の自主的な発案からスタートしたことが、一日も休むことなく調査し続けることのできた。秘訣(ひけつ)・なのかもしれない。

「お父さんやお母さんが子供の頃のように川で泳いだり、魚を捕ったりして遊びたい。自分たちの遊び場は自分たちでつくる」と豊田市立西広瀬小学校の子供たちが、矢作川と飯野川(矢作川の支流)の水質調査を始めたのは28年前の昭和51年。この頃の日本は高度成長の真っただ中で、矢作川は「ミとにごった水の流れるドブ川」のようでした。調査を続ける西広瀬小学校の子供たちは「矢作川の小さな見張り番」と呼ばれ、その活動は豊田市の河川美化運動が全市民的な市民運動へと大きな広がりをみせるきっかけにもなりました。

その昔、3メートル下の川底まで見えたという矢作川。水質測定室のある『清流の塔』には、河川美化の目標として、3メートルまで計ることができる『透視度計』が置かれています。2・3年前から親に続き「見張り番二代目」という子供もいるとか。美しい矢作川に子供たちの歓声が響くその日まで、水質調査は続けられることでしょう。



この採水ビンで川の水を採ります。

矢作ダム 最新情報

現在、矢作ダムやダム湖周辺で行われている工事を紹介します。

平成15年度も残りわずかな月日を数えるだけとなりました。

矢作ダムやダム湖周辺では、地域のみなさんの安全で豊かな暮らしを築くために現在も様々な工事を実施しています。

工事期間中はご迷惑をおかけいたしますが、ご理解とご協力をよろしくお願いいたします。

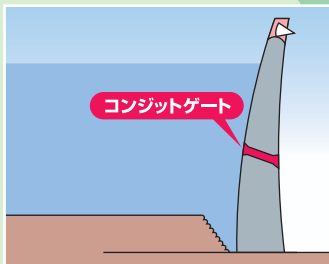
閑羅瀬地区護岸工事

ダム直下流の矢作川左岸側の護岸を修繕しています。



放流設備修繕工事

ダム放流設備コンジットゲート内部の塗装を行っています。



堆積土砂掘削工事

矢作ダム上流にある貯砂ダム周辺に堆積した土砂を掘削・搬出して、矢作ダムの治水容量を回復させるための工事です。



小滝野護岸工事

矢作ダム貯水池の一部である段戸川の法面崩落箇所を修繕しています。



維持作業

ダムの流木処理、草刈、清掃などの維持及び管理に関する作業を行っています。



～私たちが矢作ダム管理所の職員です～



みなさんこんにちは。私たちは矢作ダム管理所の職員です。管理所長、総務係、管理係、電気通信係の総勢12名でダム管理業務を行っています。

ほとんどの職員が出身地はバラバラですが豊田市に住んでおり、毎日全員で約1時間かけて通勤しています。職場環境は、緑に囲まれ、陽の光に照らされ、澄んだ空気に満たされた、

非常に静かで快適な場所で業務を行っています。

これからも、より良いダム管理、より良い流域づくりを職員一同、一所懸命に行っていきたいです。

また、矢作ダム周辺には名所、名物がたくさんありますので、是非一度遊びに来てはいかがでしょうか？



国土交通省中部地方整備局
矢作ダム管理所

〒444-2841 愛知県東加茂郡旭町大字閑羅瀬字東畑67

TEL.0565(68)2321 FAX.0565(68)2328

ホームページアドレス <http://www.cbr.mlit.go.jp/yahagi>

編集後記

この度、矢作ダム管理所から広報誌「矢作だむっこ」を創刊いたしました。

この広報誌を通じて、矢作ダムの役割・周辺市町村・地域の活動家・イベント等をご紹介します。矢作川流域の皆様には、これらの事に関心を持っていただきたいと思います。

これからも、わかりやすく、親しみの持てる広報誌を目指し、発行してまいりますのでよろしくお願いいたします。